

日本列島を、強く豊かに。高市政権の取り組みと成果 《家計支援の主な内容》

減税 ガソリン税 暫定税率廃止 約 1.2万円 (1世帯／年)	補助 電気・ガス料金 約 7,300円 (1世帯) 2026年1～3月	補助 (生活者支援) 重点支援地方交付金 消費下支え生活者支援… 1万円 程度(2人／世帯) 食料品の物価高騰特別加算… 3,000円 程度(1人)	給付 物価高対応 子育て応援手当 2万円 (子供1人) 子ども2人の場合 4万円	減税 所得税減税 約 3～6万円 (納税者1人あたり)
2026年4月 自動車取得時にかかる 環境性能割も廃止!	支援総額の例 4人家族 (父・母・高校生以下の子ども2人)	物価高対策 約 9万円 + 所得税減税 約 3～6万円	支援総額の例 2人家族 (夫・妻)	物価高対策 約 3.5万円 + 所得税減税 約 3～6万円

パフォーマンスではない、実務家としての政治家をめざして取り組んでいます！

● 高市政権が掲げる「責任ある積極財政」により経済を立て直し、大胆な危機管理投資により力強い成長を

●戦略的財政出動により、所得を増加、消費マインドを改善、事業収益を向上。税率を上げず税収増加を目指す。●政府債務残高の対GDP比を引下げ、財政の持続可能性に配慮。●経済、食料、エネルギー、健康医療の安全保障、国土強靱化対策などのリスクに対し、官民の戦略投資を促進。

● 外交力・防衛力/外国人問題

- 欧米各国よりも遥かに厳しい安全保障環境にある現状を正しく評価し、対処能力を向上。
- 日米関係を基軸に、準同盟国との関係を深化、開かれたインド太平洋構想を推進。●在留外国人の社会保険料未納や制度悪用の根絶。
- 不法滞在者ゼロプランの早期実現。

● 地域のインフラ整備を加速化

- 国土強靱化中期計画の予算を5年間で総額25兆円確保し、湖南・甲賀地域の渋滞解消及び安全対策、河川の防災対策を推進。

● 中小企業支援

- 人手不足対応の省力化投資補助金の拡充
- 小規模・中小企業の投資促進税制、賃上げ促進税制を強化。●建設業の「第三次担い手三法」の価格転嫁の取組を他産業にも導入。

● 農業/動物愛護

- 多面的機能支払、中山間直接支払制度等の日本型直接支払制度を抜本的に強化。
- 「食料システム法」の活用による農業者の所得確保。●「動物愛護管理法改正法」を検証し、「アニマルウェルフェア」を推進。

● 夢と希望が持てる滋賀県に

- 県内の大学や企業と連携して次世代の一大産業集積地を滋賀県に。●県内JAと連携し、滋賀県産の農産物の価値を向上。●「地域医療連携推進法人」を活用し滋賀県を医療・介護のモデルに。●滋賀県林業組合のスマート林業を推進、全国のモデルに。

その他の政策、および政策の詳細についてはこちらから ▶▶▶



武村展英(のぶひで)プロフィール

- 衆議院議員 五期
- 元農林水産副大臣
- 公認会計士
- 国際公認投資アナリスト(CIIA®)
- 農業経営アドバイザー (日本政策金融公庫大津支店)

昭和47年1月21日 草津生まれ草津育ち。祖父の本家は栗東市林。草津第二小学校・草津中学校・大谷高校・慶應義塾大学卒業。

- 平成6年 衆議院議員政策担当秘書
児童虐待防止法、NPO促進法などの法案策定
- 平成15年 公認会計士として民間企業、自治体の監査
- 平成24年 自民党公認で衆議員選挙初当選
- 平成28年 内閣府大臣政務官
- 令和2年 自由民主党副幹事長
- 令和5年 農林水産副大臣
- 令和6年 衆議院総選挙で五期目当選 農林水産副大臣再任
- 令和7年 自民党副幹事長、法務部会長



HP



LINE



自民党公認
たけむら
武村のぶひで

昭和47年1月21日生
54才

誠実に、ひたむきに、実直に。

地元の皆さまにお支えいただき、5期13年にわたり国政で活動してきましたことに心より感謝申し上げます。
昨年発足した高市政権は、「強い経済を作り、日本列島を強く豊かにする。そして世界の真ん中で咲き誇る日本外交を取り戻す」ことを公約としています。私は与党の「員」として、この政権を全身全霊で支えてまいります。
政権が掲げる「責任ある積極財政」の下、昨年末には18兆円の補正予算と122兆円の令和8年度予算を編成いたしました。今後も公認会計士の実務経験を生かし、物価上昇を上回る賃上げの実現と、中小企業振興に向けた経済環境の整備に邁進いたします。
現在、私は自民党法務部会長として、外国人との真の共生社会をめざして、在留資格の厳格な運用、在留外国人の社会保険料未納や制度悪用の根絶など、方向性をとりまとめました。また農林水産副大臣の経験から、今後5年間の「農業構造転換集中対策期間」とし、別枠予算を計上いたしました。圃場整備や生産性向上への集中投資を行い、我が国の農業を次世代に繋いでまいります。
地域の課題については、国道1号バイパス(栗東水口道路)の開通などの成果を上げることができました。今後は、湖南市域での4車線化や国道8号バイパスの早期供用、名神名阪連絡道路や大津山科バイパスの早期実現に引き続き全力で取り組んでまいります。